

平成31年度当初予算の概要

事業集



三木市 Miki City

目 次

【新】は新規事業、(拡)は拡充事業

テーマ	柱	項目	担当課	ページ
未来へつなぐ人と暮らしづくり	①結婚・出産・子育てを支えるまち	1 【新】 出産後の母親の健診費用を助成	健康増進課	3
		2 教育・保育の充実	教育・保育課	4
	②誰もが学び続ける環境をつくるまち	3 【新】 学校へのタブレット導入による新たな学びの開始	教育施設課・学校教育課	5～6
		4 (拡) 小・中学校の就学支援の充実	学校教育課	7
		5 【新】 中学校に「部活動指導員」などを配置	学校教育課	8
	③安心して暮らせるまち	6 【新】 学校園等に防犯カメラを設置	教育施設課	9
		7 【新】 子ども家庭総合支援拠点体制の整備	子育て支援課	10
		8 (拡) 対象児童を拡大「障害児タイムケア」	障害福祉課	11
		9 (拡) 理学療法士等の専門職の配置を充実「こども発達支援センターにじいろ」	障害福祉課	12
		10 【新】 定期予防接種の再接種費を助成	健康増進課	13
		11 (拡) 乳がん検診の自己負担額を軽減	健康増進課	14
		12 【新】 「健康ポイント事業」を開始	医療保険課	15
		13 【新】 インターネット上の差別書込みを監視	人権推進課	16
安全・安心なまちづくり	①暮らしに必要な環境を整えるまち	14 公共交通の確保及び維持・活性化	交通政策課	17
		15 【新】 神戸電鉄粟生線三木駅の再生	交通政策課	18
		16 【新】 デマンド型交通の導入を検討	交通政策課	19
	②持続可能なまち	17 【新】 公共施設の劣化状況などを調査	財政課	20
		18 幹線道路の整備やスマートICの整備に向けた検討を推進	道路河川課ほか	21
	③防災に強いまち	19 (拡) 消防・救急体制の確保	消防本部	22
		20 【新】 消防指令システムの更新に着手	消防本部	23
		21 【新】 緊急時の情報共有ネットワークの構築と職員用パソコンの更新	法務情報課	24
		22 【新】 石野地区等の浸水対策を検討	プロジェクト推進課	25
23 【新】 自転車ネットワーク整備計画の策定		道路河川課	26	

目 次

【新】は新規事業、(拡)は拡充事業

テーマ	柱	項 目	担当課	ページ
いきいき輝く魅力づくり	①地域資源で人を呼び込むまち	24(拡) 訪日外国人旅行者(インバウンド)の受入体制づくり	企画政策課	27
		25【新】 「2020年東京オリンピック・パラリンピック」と「ワールドマスターズゲームズ関西2021」に向けての機運づくり	文化・スポーツ課	28
	②地域の魅力を伝えるまち	26【新】 花の庭園プロジェクト ～三木ホースランドパークに紫陽花(あじさい)園を整備～	観光振興課	29
		27【新】 古民家を活用したウエディング	観光振興課	30
		28【新】 「三木版るるぶ」の作成	観光振興課	31
	③地域の魅力を高めるまち	29【新】 多世代のしごとをサポート ～クラウドワークの推進～	市民協働課	32～33
		30【新】 大村土地区画整理事業等	都市政策課	34
		31【新】 プレミアム付商品券の販売	商工振興課	35
		32 産業の振興	商工振興課・農業振興課	36
	その他	33 公共施設の改修	各施設所管課	37～38



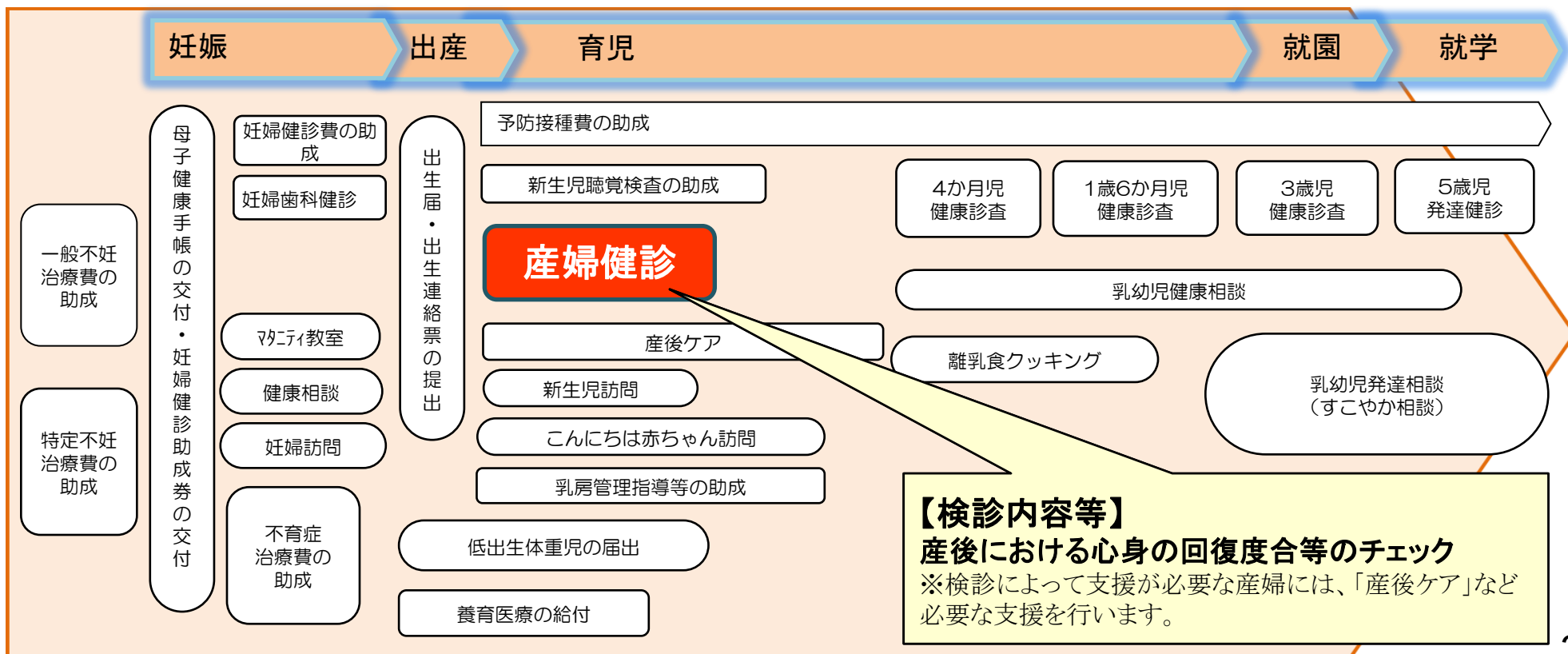
出産後、2週間及び1か月经過時において、産婦が自身の回復状態や授乳状況・精神状態を把握するために受診する「産婦健康診査」の費用の一部又は全部を助成し、「切れ目のない子育て支援」をさらに充実させます。

【対象者】 三木市に住所を有し、概ね産後2週間及び1か月に産婦健康診査を受診する(した)産婦

【助成内容】 産婦健康診査費助成： 上限 5,000円 × 2回(健診2回分を限度)

【助成方法】 1)、2)いずれかの方法による

- 1)あらかじめ交付する受診券(5,000円券を2枚)の提出による医療機関窓口負担の軽減
- 2)市窓口申請による償還払い



就学前及び就学後の児童に対して、教育・保育施設への入所給付事業及び放課後児童健全育成(アフタースクール)事業を実施します。また、市内の認定こども園等で保育教諭等として勤務する者に対する処遇改善とともに、保育士資格又は幼稚園教諭免許状の取得・更新支援を行います。あわせて、就学資金の貸与や、認定こども園等で就業体験する学生への支援を行うことにより、保育教諭等の確保につなげます。

就学前教育・保育施設への入所に係るもの

施設給付事業
20億7,400万円

就学前児童の教育・保育に対する施設給付事業(児童受入施設の運営費)
市内民間認定こども園 12園、小規模保育事業所 6園、事業所内保育事業所 1園 他

特別保育等補助事業
1億5,824万円

施設の特別保育に対する補助事業
一時預かり事業、延長保育事業、障害児入所委託保育施設補助事業等

処遇改善
3,600万円

民間認定こども園等へ勤務する保育教諭(正規及び正規に準ずる)の処遇改善として、1人当たり9,000円の補助

人材確保補助
315万円

保育教諭等をめざしている学生が、市内の認定こども園等へ就業体験を行った際に、1時間当たり900円の補助

免許取得、更新補助
610万円

保育士資格の取得または、幼稚園教諭免許状の取得、更新支援。
受講に要した経費×1/2(上限10万円)

修学資金貸付
300万円

月額25,000円の修学資金貸与。(貸与期間:2年限度)
※市内の認定こども園等で5年勤務すれば返還債務免除

処遇改善等に係るもの

アフタースクールに係るもの

アフタースクール事業
2億6,573万円

就学後(小学校)の児童に対する放課後児童健全育成(アフタースクール)事業 (直営事業所2か所、委託事業所11か所の運営費)



項目

学校へのタブレット導入による新たな学びの開始
(教育総務部 教育施設課・教育振興部 学校教育課)

事業費:8,033万円
(5年間の総事業費:6億9,000万円)

学校園に設置している教育用・校務用パソコンを更新します。小学校、中学校、特別支援学校で児童生徒が授業で使用するパソコンについて、現在のデスクトップ型パソコンをタブレット型パソコンで更新し、児童生徒にとって楽しく、分かりやすい学習を行います。

子どもたちの新たな学びの始まり ～タブレットでより楽しく、分かりやすい学習に～

総事業費 6億9,000万円
(5年リースで整備)
H31年度 8,033万円

【情報教育用】

- タブレット型 1,140台
- 無線LAN
アクセスポイント 347台
- 教育系サーバ 5台
- デジタル教科書
小学校 4教科
中学校 5教科
- プリンタ 51台
- スキャナ 25台

• 学習教材配信システム
(みっきい・ステップ学習事業)
※詳細は次ページに掲載

【校務用】

- ノート型コンピュータ 615台
- プリンタ 100台

タブレットを使うことで

どこでも



校外学習で
教室で

写真や動画で保存しよう

みんな



班別学習で意見を出し合う

こうすればいいのかな

はやく



班の意見をまとめて
プロジェクタに表示

みんなこう考えているのか

わかりやすく



図や絵を使ってプレゼン

写真や動画があると分かりやすいな

- 学習が楽しくなる
- 学習に対する自信がつく
- 論理的思考が育つ
- 学習意欲が向上する



(仮称)みつきい・ステップ学習の導入(教育振興部 学校教育課)

授業進度や子どもたちの理解に応じたプリントが作成でき、タブレットの手書き機能や学習の記録を管理できる機能を備えた学力向上支援教材(デジタル教材)を導入し、より効果的な個別指導や基礎・基本の定着を図ります。

[内容]

- 各学校においてプリントを作成し、授業時間やモジュール※の時間、放課後の補充学習の時間などに活用
- 校内のインターネット環境を活用し、子どもたちが自分の理解度に合わせた系統的な学習が可能

※モジュール:短時間の学習



学力向上支援教材(デジタル教材)

プリントの作成

授業の進度や子どもたちの理解に応じた様々な練習用・復習用の問題プリントを作成することができる。

学校での学習

作成した問題プリントや学校のインターネット環境を活用し、様々な場面で、子ども一人一人の理解度に対応した学習を行うことができる。

きめ細かな指導

学習履歴管理による指導

クラスや生徒の学習結果、学習回数などを把握し、生徒が苦手とする分野のプリントや、予習・復習用のプリントを活用したりすることで、クラス指導や個別指導をより効果的に行う。



子どもたちの学力向上

経済的に生活保護法に規定する「要保護者」に準ずる程度で、就学が困難な学齢児童生徒の保護者(「準要保護者」)に対して、必要な費用の一部について、支援を行います。



平成31年度から要保護者に対する支援が拡充されるため、準要保護者に対しても

- ・新入学用品費(増額) ※入学前に支給
- ・卒業アルバム費(新設)

を行います。

※平成31年4月に入学する小学1年生及び中学1年生に対する新入学用品費は平成30年度予算で支給します。



【小学校】

援助対象	対象	現在	新	増減
新入学用品費	1年生	40,600円	50,600円	10,000円
学用品費	全学年	14,700円	14,700円	—
校外活動費		実費	実費	—
学校給食費		43,340円	43,340円	—
通学用品費	2~6年生	2,170円	2,170円	—
修学旅行費	6年生	実費	実費	—
卒業アルバム費		—	実費	皆増

【中学校】

援助対象	対象	現在	新	増減
新入学用品費	1年生	47,400円	57,400円	10,000円
学用品費	全学年	28,900円	28,900円	—
校外活動費		実費	実費	—
学校給食費		45,100円	45,100円	—
通学用品費	2・3年生	2,170円	2,170円	—
修学旅行費	3年生	実費	実費	—
卒業アルバム費		—	実費	皆増

項目

中学校に「部活動指導員」などを配置(教育振興部 学校教育課)

事業費:643万円

部活動の活性化、教職員の負担軽減などを目的に、市内中学校に部活動指導員(学校教育法施行規則第78条の2に定める部活動指導員)及び部活動指導補助員を配置します。

【平成30年度まで】

三木市中学校部活動 外部指導者派遣事業

スポーツや文化・芸術活動に専門性のある指導者を中学校部活動外部指導者として各校の実情に応じて派遣。

【過去5年間の実績】

平成26年度: 4校 (12名)
平成27年度: 6校 (13名)
平成28年度: 7校 (13名)
平成29年度: 3校 (9名)
平成30年度: 4校 (10名)

【配置条件】

運動部活動
@1,000円×210時間
文化部活動
@1,000円×120時間

拡大

【平成31年度から】

三木市中学校部活動 指導員派遣事業

部活動指導員

研修を義務付け、単独指導、単独引率が
できる指導者

※配置条件

@1,500円×412時間×4名を想定

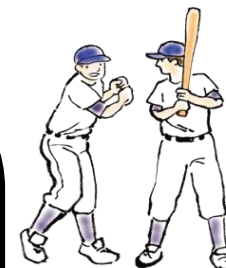
部活動指導補助員

単独指導、単独引率はできない指導者

※配置条件

@1,200円×412時間×8名を想定

三木市中学校部活動の方針、各中学校部活動の方針をもとに指導



中学校部活動の活性化
中学校教職員の負担軽減



現在、小学校に安全指導員を配置し、校内及び校区内を巡回することにより児童生徒の安全確保に取り組んでいます。これに加えて、学校園敷地内への侵入防止と犯罪発生時の抑止を図るため、防犯カメラを設置し、児童・生徒・園児等のさらなる安全を確保します。

【現在】

安全指導員を配置
(小学校)



保育所、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校に防犯カメラを設置

設置台数:50台

設置箇所:正門・通用門
(予定)



- ・不審者の侵入の抑止
- ・犯罪発生時の早期解決

園児、児童、生徒が安心して過ごすことのできる教育環境の整備



全学校園に防犯カメラの設置が完了



子どもの虐待の発生を防止するためには、身近な場所で、子どもやその保護者に寄り添って継続的に支援することが重要です。そこで、三木市では、専門的な相談対応や必要な調査、訪問等による継続的な支援の役割を担う「子ども家庭総合支援拠点」を整備することで、児童虐待の防止と対応をすすめます。

子ども家庭総合支援拠点は、市町村などの地域において、すべての子どもとその家庭や妊産婦等を対象として、心身ともに健やかに育成されるよう、必要となる支援に関する業務全般を行います。



	現行(～H30)	新体制(H31～)	新体制の効果
業務	子どもの虐待等に関する相談や支援、指導、家庭訪問、現状確認、関係機関との連携	現行業務(左記)に加えて、 児童相談所からの指導措置の委託を受けた家庭への訪問、援助等の支援の強化	・関係機関との綿密な連携(児童の所属する学校等への定期的な訪問)
体制	【3名体制】 家庭児童相談員2名、臨床心理士1名	【4名体制】 子ども家庭支援員2名、虐待対応専門員1名、心理担当支援員1名(社会福祉士、精神保健福祉士、保健師、保育士などの有資格者)	・研修会等の開催による虐待予防や早期発見(子どもの発するSOSに大人が気付くための講座などの開催)

※支援拠点は、妊産婦等を対象とした相談支援も行う役割があるため、子育て世代包括支援センターの母子保健施策とも連携、調整を図りながら運営を行う

三木市子ども家庭総合支援拠点

- 実情の把握、○情報の提供及び収集
- 相談、調査、支援計画、支援及び指導等
 - ・相談対応、調査、アセスメント、支援計画の作成等、支援及び指導等、児童相談所による指導措置の委託を受けて市町村が行う指導
- 関係機関との連絡調整

支援拠点(子育て支援課)が調整機関の主担当機関を担うことで、支援の一体性、連続性を確保し、児童相談所との円滑な連携・協働の体制を推進
- その他の必要な支援
 - ・一時保護又は措置解除後の児童等が安定して生活していくための継続的な支援

要保護児童対策地域協議会 調整機関

- ・責任をもって対応すべき支援機関を選定
→主担当機関が中心となって支援方針・計画を作成
- ・支援の進行状況確認等を管理・評価
- ・関係機関間の調整、協力要請等

平成30年4月から市が事業主体となり運営する「障害児タイムケア」は、障がいのある児童の放課後及び夏休みなどの長期休暇中の活動場所を確保するとともに、保護者の就労支援及び看護負担の軽減を目的に、対象児童の拡大と体制の充実を図ります。

事業名	障害児タイムケア事業 (継続・拡充)
対象児	特別支援学校に在籍する児童又は市内小・中学校に在籍する重症心身障害児で、日中、保護者の就労等の理由により、一時的に活動場所の確保が困難な児童
定員	10名/日
事業内容	上記対象児童に対して、活動場所の確保及び保護者の就労支援ならびに看護負担の軽減を目的に、必要な支援を行います

拡充内容

■市内小・中学校に在籍する重症心身障害児の受入



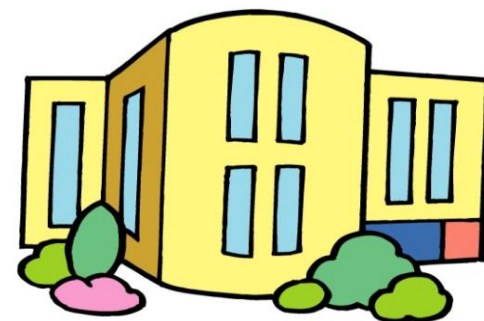
市内小・中学校からタイムケアへの移動手段を整え、重症心身障害児の受入を可能にします。

■専門病院との連携強化



専門医療機関と連携し、より高度な看護技術を取得するため現場実習を行うことにより、重症心身障害児等の安全・安心を守ります。

障害児タイムケア



重症心身障害児や医療的ケアが必要な障がい児の受入体制を整えます。

項目

理学療法士等の専門職の配置を充実「こども発達支援センターにじいろ」
(健康福祉部 障害福祉課)

事業費:9,475万円

平成30年4月から市が事業主体となり運営する「こども発達支援センターにじいろ」は、発達に支援を必要とする子どもと保護者、保育所等の関係機関に対し療育の質を保障するため、理学療法士等の専門職を配置するなど体制の拡充を図り、障がいがあっても地域でその人らしく、誇りをもって暮らせるまちづくりを進めます。

事業名	児童発達支援 (継続)	放課後等デイサービス (継続)	こども園等訪問支援 (継続)
対象	未就学児	就学児童 (小学1年生～高校3年生)	こども園等に通う専門的な支援が必要な児童と児童にかかわる職員
定員	10名/日	15名/日	—
事業内容	日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練、個別療育、言語訓練などの支援		こども園や小学校、特別支援学校等を訪問し、児童にかかわる職員と連携しながら集団生活への適応のための専門的な支援を行う

民間で配置が困難な専門職の配置を充実

理学療法士、臨床心理士、言語聴覚士等を配置



こども発達支援センターにじいろ

拡充
内容

■発達支援指導員の配置

にじいろ、タイムケア、学校園所、保護者など、子どもに関わるすべての者に対する相談・指導・助言を行います。

相談窓口ってどこにあるの？



にじいろへ



発達に支援が必要な子どもとその保護者

■臨床心理士による発達相談事業

大学の臨床心理センターと提携し、子どもの特性理解と適切な療育の提供に努め、子どもの暮らし(家庭、学校・園所)に反映させます。

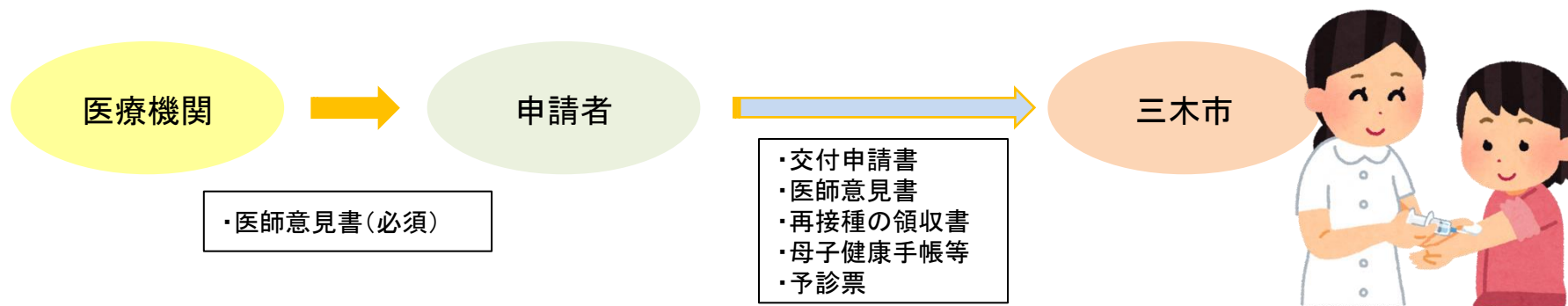


小児がん等の治療により定期予防接種の効力を失った方に対し、予防接種法に定める定期予防接種を再接種(任意)する場合に接種費の一部又は全部を助成します。

- 【対象者】 1) 三木市に住所を有する、満20歳未満の方
2) 平成31年4月1日以降に、予防接種法に規定する定期予防接種を再接種した方

- 【適用条件】 1)小児がん等治療のため、骨髄移植等の造血細胞移植や放射線治療等により、定期予防接種で得た免疫を消失又は低下した場合であって、医師が再接種を必要と認める場合

- 【助成額】 1)定期予防接種の再接種に要した費用のうち、三木市が、一般社団法人三木市医師会と締結している「予防接種業務委託契約書」に定める額を上限とする。



女性のがん罹患率が最も高い乳がんの早期発見、早期治療のため、検診の自己負担額を引き下げるとともに健診機会を増やし、受診率の向上を図ります。

乳がん検診(マンモグラフィ:乳房X線検査)

《対象》40歳以上の女性(2年に1回)

《自己負担額》

【集団健診】	(~H30年度)	(H31年度~)
40歳代(2方向撮影)	3,800円	→ 2,200円
50歳以上(1方向撮影)	3,000円	→ 1,700円

【個別健診】

40歳以上(2方向撮影) 4,200円 → **2,500円**

乳がん検診(エコー:乳房超音波検査)

《対象》20歳以上の女性

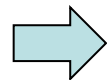
《個別健診》2,400円 → **2,000円**



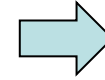
自己負担額の軽減



受診機会の拡充



がん検診受診の習慣化



がんの早期発見・早期治療

平成29年度の三木市における乳がん検診受診率は県平均に比べて低い状況。
三木市:17.2% 県平均:17.9%

項目 「健康ポイント事業」を開始(健康福祉部 医療保険課)

事業費:150万円
(国保会計)

国民健康保険加入者が生活習慣病予防や健康で生き生きとした生活を送るため、特定健診、がん検診等の健康診査を受診したり、市が主催する健康づくり事業、教室、講座等に参加した場合にポイントを付与する健康ポイント事業を開始します。年度末には、貯まったポイントに応じて商品と交換します。

対象者:三木市国民健康保険に加入している18歳以上の方(高校生は除く)

対象期間:6月1日~翌年2月末日(予定)

実施目的:「自らの健康は自らがつくる」意識の向上を図る

健康ポイント取得の流れ

- 1 健康ポイント手帳を取得(医療保険課・三木市総合保健福祉センター等)
- 2 下記の健康づくりの活動を実践し、ポイントを取得
 - ①生活目標・運動目標をたてて、実行
 - ②町ぐるみ健診、がん検診等の健康診査を受診
 - ③市が実施する健康に関するイベント、教室、講座等に参加
- 3 医療保険課にポイントを合計した手帳を提出し、商品と交換



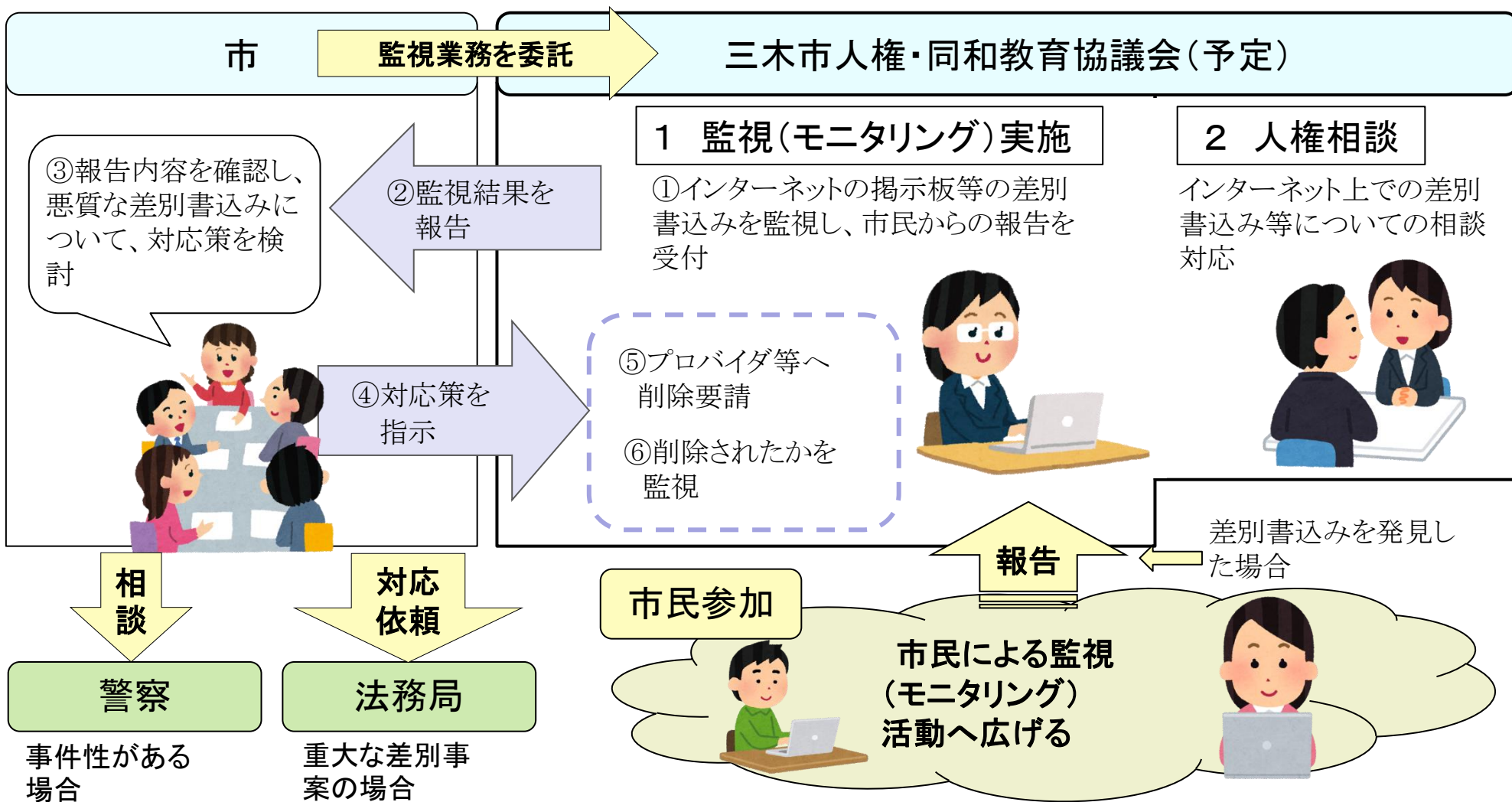
ポイントの例	
健康診査	5ポイント
イベント・教室・講座	2ポイント
生活目標・運動目標	1ポイント

交換できる商品例

市指定ゴミ袋、健康手帳
地元産品 など



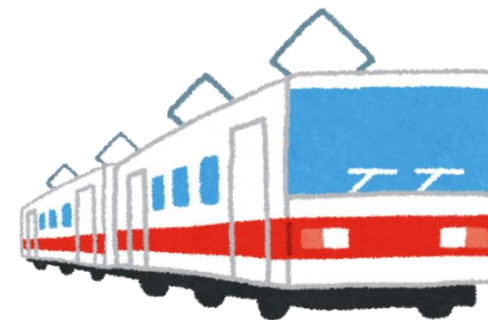
インターネット上で差別を助長する書込み等人権に関するさまざまな問題が増加しています。このため、差別書込みの削除、抑制及び市民の人権意識の高揚を図るため、インターネット上の差別書込みを監視(モニタリング)します。



神戸電鉄粟生線、路線バス及び地域ふれあいバスへの支援及び利用促進を行い、引き続き、市民生活に必要な公共交通の確保及び維持・活性化を図ります。

神戸電鉄粟生線(9,099万円)

- | | |
|------------------------------------|---------|
| ○鉄道安全輸送設備等の整備(新型車両の導入など)
に対する支援 | 5,478万円 |
| ○神戸電鉄福祉パス(8日分乗り放題カード)の交付 | 2,770万円 |
| ○神戸電鉄粟生線活性化協議会への支援 | 400万円 |
| ○新規就労者(フレッシュマン)の通勤定期運賃助成 | 300万円 |
| ○学校、自治会などの行事に係る利用助成 | 50万円 |
| ○北播磨総合医療センターへの通院等に係る利用補助
など | 22万円 |



市民生活に必要な公共交通の確保及び維持・活性化を図ります



路線バス(3億6,044万円)

- | | |
|-----------------|------------|
| ○赤字バス等運行補助金 | 3億710万円 |
| ○バス運賃補助金(一律運賃制) | 5,300万円 など |

地域ふれあいバス(924万円)

- | | |
|-----------------------------|-------|
| ○運行管理業務委託料 | 640万円 |
| ○その他運行に要する経費
(修繕費、保険料など) | 284万円 |

平成30年3月の火災により焼失した三木駅の再生に当たり、事業用地の確保並びに駅前広場(ロータリー)の実施設計及び整備工事の着手により、駅再生に向けた取組を本格化します。



三木駅再生事業区域(予定)

三木駅周辺図

注) 図はおおむねの区域を示すものであり、位置を特定したものではありません。

◎三木駅再生に向けた現在の取組

- ・ 駅近隣地権者等との用地交渉を踏まえた事業区域の策定
- ・ 三木駅再生方針(案)の策定検討
⇒ 地域のにぎわいと粟生線の更なる活性化につながる駅として再生・整備。駅前広場としてロータリーを整備
- ・ 駅舎及び駅利便施設(駅舎等)の基本設計に着手
⇒ 昨年実施した「三木駅の再生に関するアンケート」調査の結果を踏まえ、規模、機能、デザイン等を具体的に検討

◎平成31年度の主な事業の内容及び金額

(単位:万円)

事業の内容	金額
駅前広場(ロータリー)の実施設計	2,700
駅前広場(ロータリー)の整備工事	8,100
用地購入	3,641
計	1億4,441

◎三木駅再生に向けた今後のスケジュール(予定)

H30(2018)年度	H31(2019)年度	H32(2020)年度	H33(2021)年度
事業区域確定 駅舎等基本設計	駅前広場(ロータリー)実施設計・整備工事 駅舎等実施設計	駅舎等整備工事	新駅舎の供用へ

新たに策定する「三木市地域公共交通網形成計画」(平成31年3月策定予定)に基づき、将来における新たな交通手段として、予約運行等により需要に応じた運行が可能となる「デマンド型交通」の導入について検討します。

【デマンド型交通の主たるターゲット(利用者及び目的)】
高齢者等の通院、買い物利用

【市内間を運行する一部の路線バス】
利用実態により即した見直しの必要性

【三木市のデマンド型交通の位置付け】
既存の路線バスを補完又は代替し、主として高齢者等の移動ニーズに即した新たな交通手段

市民の移動ニーズや人口、居住地の分布状況などから、
まずは吉川地域全域において、デマンド型交通の導入を検討

※ 地域ふれあいバスの運行地域(口吉川、別所、自由が丘及び細川地域)においては、今後、地域の高齢化などによりボランティア運転者の確保が困難となり、ひいては地域ふれあいバスの運行が継続できなくなることも想定されます。このため、これらの地域についても、デマンド型交通の導入検討対象とします。

平成31年度の主な取組施策

【参考】デマンド型交通の主なメリット・デメリット(例)

① 他市の事例収集

② 地域住民(吉川地域)の利用意向把握
(アンケート調査等)

③ 交通事業者等の意向把握

④ 運行サービス内容の検討

主なメリット	主なデメリット
例えば、自宅から目的地までの「ドア・ツー・ドア型」の場合、バス停まで歩く必要がなくなる。	予約が必要で、煩わしい(予約や予約のキャンセルが手間)。
利用者からの事前予約に対応して運行するため、無駄な運行がなくなる。	結果的に利用者がいない場合であっても、車両と運転者を確保しておく必要がある(利用者1人当たりコストが割高となる可能性がある。)
行き先やニーズが散在している地域に対応しやすい仕組みである。	相乗りのため、時間の融通が利かない(他人との乗合いに抵抗感がある。)

三木市公共施設等総合管理計画で示した基本方針に基づき、各個別施設の長寿命化、転用、統廃合、複合化、集約化、民間活力の活用等、公共施設の類型ごとに再配置方針を定めるため、個別施設計画の策定を進めています。
個別施設計画の策定にあたり、建物の劣化状況を調査し、再編方針の基礎資料を作成します。

三木市公共施設等総合管理計画
(平成29年3月策定)

個別施設計画

インフラ施設

- 上下水道
- 公園
- 橋梁
- 道路

公共建築物

- 学校
- 市営住宅
- 庁舎
- 公民館
- その他

施設情報の見える化・評価

財務
・コスト状況

供給
・利用状況

品質
・劣化状況
・耐震性能

再配置(長寿命化・統廃合等)方針の策定

公共施設の劣化状況等の調査

◎対象施設(約70施設、約100棟)

- ・概ね延床面積100㎡以上
- ・築10年以上

※市営住宅、公園施設、学校施設等の個別計画が策定済(策定中)の施設、用途を廃止している施設、地区や団体が運営している施設は除く

◎事業内容

- ・施設の劣化状況の調査と評価
- ・施設の現状・課題の整理と更新等対策方針の検討
- ・更新等対策費用のシミュレーション

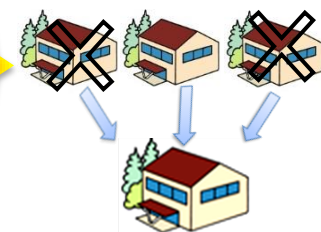
【再配置のイメージ】

長寿命化



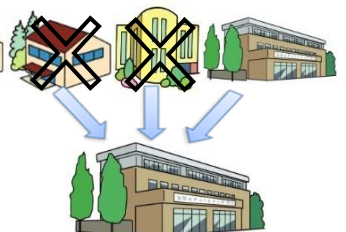
大規模改修工事

集約化



同じ機能の施設を1つの施設に集約

複合化



異なる機能の施設を1つの施設に集約

項目

幹線道路の整備やスマートICの整備に向けた検討を推進
 (都市整備部用地管理課・道路河川課・プロジェクト推進課)

事業費: 2億7,074万円

市街地周辺の幹線道路の整備及びスマートIC整備に向けた検討を進めることにより、市街地内の渋滞緩和と北播磨総合医療センター等への利便性を向上させ、道路交通網を整備することで歩行者や車両の安全を確保します。



消防力の強化や救急体制の充実を図るため、消防署本署に配備している「水槽付消防ポンプ自動車」と「高規格救急自動車」を更新します。

水槽付消防ポンプ自動車
(CD-I型)

現車両配備 平成10年10月

経過年数 20年

走行距離 約3万7,000km



コンパクト化かつ1,300ℓ以上の積載水を確保

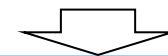


- 住宅密集地等への進入をより可能にする
- 迅速かつ効果的な消火活動を行う
- 熱画像直視装置を搭載し、残火を正確に発見する
- 要救助者の検索を迅速に行う



最新鋭の資器材を搭載

車両安定性の向上



- 緊急走行時の安全性が高まる
- 車両クッション性、ストレッチャーの機能向上により、傷病者への負担を軽減する
- 年々増加する救急に対し、出動体制を整える



最新の救急資器材を搭載

高規格救急自動車

現車両配備 平成24年12月

経過年数 6年

走行距離 約14万km



項目

消防指令システムの更新に着手(消防本部)

事業費:870万円
(設計監理に係る債務負担を含む)

高機能消防指令システムは導入から11年を経過し、保守対応期限を超える機器の故障も多く発生していることから、24時間365日安定した消防指令体制を維持するため、2020(平成32)年度に更新します。
平成31年度は、導入工事に向けた実施設計を行います。

高機能消防指令システム

最新技術の搭載

- NET119
- 三者間同時通訳
- 発信地表示
- 車両動態管理システム
- 回線のIP化対応
- 周辺システムとの連携等

より迅速に より高機能に

- 大規模災害に備える
- 操作員の負担軽減



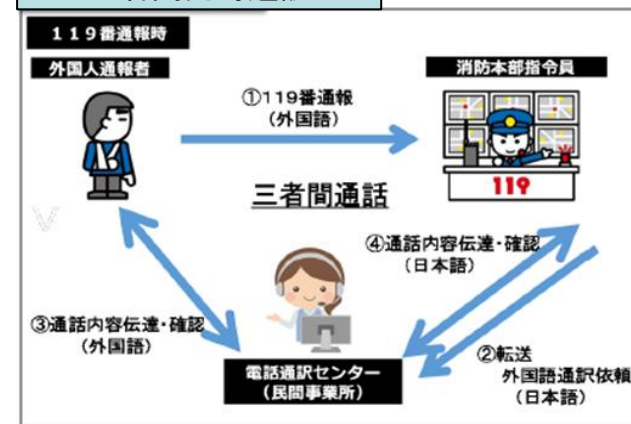
指令業務の円滑な運用により
市民の安全安心を守る

NET119(緊急通報システム)



会話に不自由な聴覚・言語障がい者が、スマートフォンなどで119番通報を行えるシステム

三者間同時通訳



外国人など、日本語での会話が困難な方に対する電話同時通話サービスを用いた多言語通訳システム

項目

緊急時の情報共有ネットワークの構築と職員用パソコンの更新
(総合政策部 法務情報課・市長直轄組織 危機管理課)

事業費:6,940万円
(5年間の総事業費:2億6,740万円)

Windows7のサポートが2020年1月に終了することに伴い、導入から7年が経過し更新時期を迎える職員のパソコンを更新するとともに、本庁舎に無線LANを導入します。

あわせて、場所を問わず市のネットワークにアクセスできるタブレットパソコンを導入し、災害に強いネットワークを構築します。

○緊急時の情報共有のためのタブレットパソコン等の導入【予算額:510万円(5年リース総額:1,230万円)】

市役所

平常時

- ・会議のペーパーレス化を推進



緊急時

- ・どこでも使用可能(配線に関係なく)
- ・避難所等(端末間)との情報共有が可能



専用回線
【30台】

避難所

- ・情報収集が電話やラジオなどに限定
- ・口頭では状況が伝わりにくい



導入後

- ・必要な情報が迅速に収集可能に
- ・画像など詳細な状況報告が随時可能



三木市の状況がわからない

川の水位はどうなっているの?

裏の山が崩れそうなんだけど

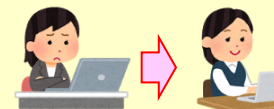
○本庁舎の無線LAN化【予算額:1,700万円】

本庁舎を無線LAN化し、人事異動時等の作業の軽減化や事務機の移動や設置等の簡便化を図ります。



○職員パソコンの更新・Windows10化【予算額:4,730万円(5年リース総額:2億3,810万円)】

パソコン900台の更新、250台のOS入替、プリンタ110台の更新をします。



大雨によってたびたび浸水被害が生じている石野・相野地区等の現況調査を行い、浸水対策を検討します。



調査項目

- ・資料収集整理
- ・現地調査(流向調査含む)
- ・流量表、縦断図作成(現況)

検討項目

- ・現況能力チェック(浸水原因の想定)
- ・対応策の検討(調整池、水路改修等)

近年の環境に対する意識の高まりや健康志向から、自転車に対する注目は高まっています。一方、交通事故の全体件数は、近年減少傾向にあるものの、自転車対歩行者の事故は横ばい傾向である。これらのことから、近隣市でも取り組みが始まっている自転車通行空間の計画策定並びに整備を進めます。

整備前の現況



H31年度 (仮称)自転車ネットワーク整備計画策定



【自転車ネットワーク整備計画】

- ・三木市の現状把握
(交通特性、事故調査、ヒヤリハット調査、交通規制状況、道路現況調査 等)
- ・整備路線の抽出
(エリア検討、必要性の検討等)
- ・路線別整備内容の整理
(レーン整備、路面標示方式等の整理)

H32年度以降 計画に基づき整備推進

自転車空間を整備することで、車、自転車、歩行者が錯綜することを防ぎ、安全・安心・快適な道路空間を創出する

自転車空間整備イメージ



自転車レーン



路面標示方式

2019年のラグビーワールドカップや2020年の東京オリンピック・パラリンピックなどの世界的なスポーツイベントが日本で開催される「ゴールデンスポーツイヤーズ」を契機に、三木の資源であるゴルフ場・モノづくり(金物産業)・日本酒(酒米山田錦)を訪日外国人旅行者に『知ってもらい』『来ていただき』『触れていただく』機会を創出します。

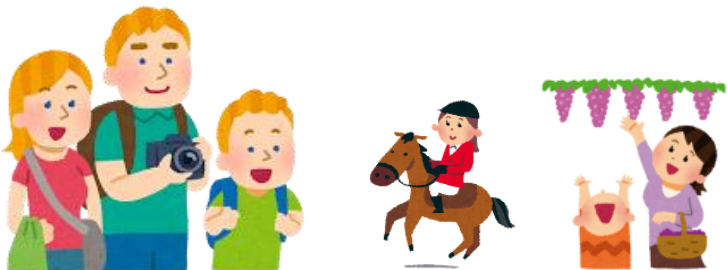
1 訪日外国人旅行者の受入体制づくり

ゴルフを核とした訪日外国人向け旅行の実施に向け、受入施設や運営事業者との協力体制の構築を進めます。

【実施内容】

①旅行者の受入施設(事業者)※の拡大
※ゴルフ場、観光農園、宿泊施設、
モノづくり体験・見学施設、
乗馬体験施設など

②運営事業者(旅行会社等)との旅行・観光
プラン作成や事業運営体制の構築など



2 広域連携によるプランづくり

県や他の都道府県と連携した広域的な誘客を進めます。

【実施内容】

- ①日本ゴルフツーリズム協会主催の商談会(昨年10月参加)後の、海外及び国内事業者とのパイプづくりと、ゴルフを核とした旅行の実施に向けた商談
- ②北播磨県民局と進めるゴルフを核とした旅行の推進



3 商談会の開催に向けた取組

兵庫県が進める「(仮称)兵庫ゴルフツーリズム商談会」の開催に参画し、三木市のゴルフ場や体験施設へ海外旅行事業者を誘致します。

【実施内容】

- ①兵庫県が進める海外旅行事業者を招待する商談会に参画
- ②国際交流協会と連携した通訳者の紹介
- ③商談会前後において海外旅行事業者の視察旅行の誘致



事業名

「2020年東京オリンピック・パラリンピック」と
「ワールドマスターズゲームズ関西2021」に向けての機運づくり
(教育総務部 文化・スポーツ課)

事業費:364万円

2020年の東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンとしての事前合宿と、ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催に向け、交流事業や三木市のPR事業を実施します。

東京オリンピック・パラリンピック

三木市は、

- フランスの陸上競技選手団(オリンピック)
 - ネパールのテコンドーチーム(パラリンピック)
- のホストタウン。

4月にはフランス、8月にはネパールの選手団が三木市で事前合宿。

この機会をとらえ、両国選手団との交流事業等を実施します。



ワールドマスターズゲームズ関西2021

ワールドマスターズゲームズは、概ね30歳以上であれば誰もが参加できる生涯スポーツの国際競技大会。

アジアでの開催は初。開催地は関西地域。

三木市では**ブルボンビーンズドーム**で**テニスの大会が開催**されます。

2021年に向け、2019年は2年前大会を開催し、機運を盛り上げます。



項目

花の庭園プロジェクト
あじさい
 ～三木ホースランドパークに紫陽花園を整備～
 (産業振興部 観光振興課)

事業費:2,215万円

三木ホースランドパークにあるふれあいの森を「(仮称)あじさい紫陽花園」にリニューアルすることで、集客力及び収益力を向上させ、三木ホースランドパークの経営の安定や市及び北播磨全体の新たな観光地の開拓に繋がります。

現状

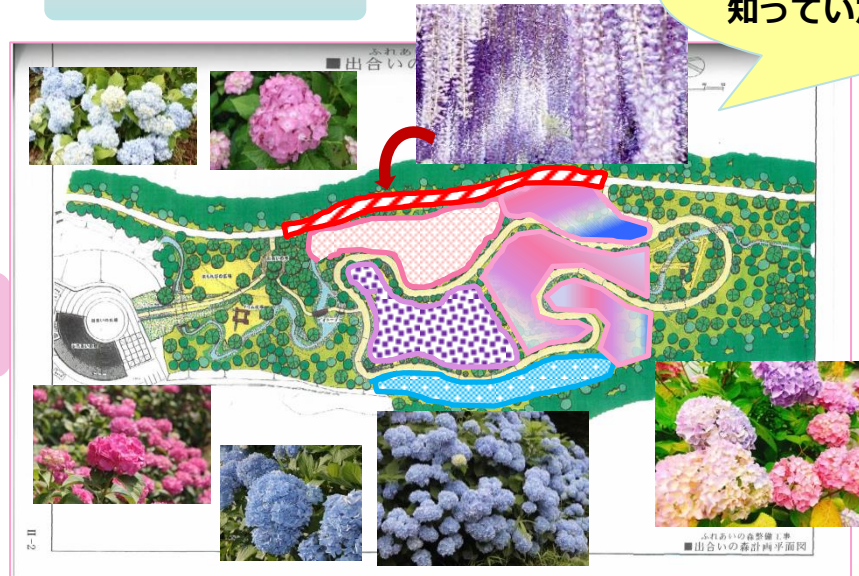
ターゲットバードゴルフ、パットパットゴルフ、おもしろ自転車などがあるが、おもしろ自転車については錆などの老朽化により毎年更新が必要とされている。年間の売り上げを考えると厳しい状況。

抜本的な活性化策の展開が必要

あじさい
紫陽花園にすることで・・・

- ・ふれあいの館内のレストランや周辺施設の三木ホースランドパーク馬事センター、研修センター、道の駅みきなどの集客につながる。
- ・175号線すぐなので市外の方からお越し頂きやすい立地。
- ・三木の新たな観光名所になる。

イメージ図



SNS、情報誌などで広がり三木を知っていただき賑わいづくりを創出



2020年6月オープン(予定) 29

ブライダルコースのある関西国際大学と連携し、外国人を対象とした「古民家ウェディング」を実施することで、有形登録文化財である旧玉置家住宅を広くPRし、市内外から日本人だけでなく、外国人観光客を誘客します。

現状

来館者数:約1万人/年
開館時間:午前10時～午後4時
入館無料

課題

魅力ある歴史資源のPR
や活用



古民家ウェディング
によって...

- 話題作りになる
- ・「こんな結婚式ができるんだ・・・」
- ・「三木市にこんな場所があるの・・・」
- ・「ここで結婚式したい・・・」
- SNS効果で観光客が増え、古民家の知名度UP。
- 年2回(夏・冬)実施により季節感のある日本ならではの...を味わえる
- インバウンドに繋がる

魅力ある観光
まちづくりの実現

古民家を活用
することで、
幅広い世代に
興味を持って
もらう!

コンセプト:和風



神前式風

夏は庭で実施、ゲストは浴衣着用

学生
プロデュース!!

ネスタリゾート神戸や三木ホースランドパークなどのテーマパーク、三木城跡や湯の山街道などの歴史資源、イチゴ狩りやぶどう狩りなどの体験メニュー、市内のカフェや飲食店などを観光PRの専門家等の視点でテーマ別にまとめた観光雑誌を作製することで、三木市の観光情報を効果的に発信し、観光客の誘客につなげます。

現行のパンフレット



専門家等の視点により集約

三木版るるぶ

(イメージ)



掲載内容
ネスタリゾート神戸
動物ふれあい体験 (ホースランドパーク、西山牧場)
ヤクルト工場見学
古民家レストラン&カフェ
人気店の名物スイーツ
三木歴史をさんぽ (子午線塔、湯の山街道etc..)
山田錦・金物などの特産品
四季の絶景や味覚狩り など

設置場所(案)
道の駅みき
三木ホースランドパーク
山田錦の館
六甲観光ブース
神戸電鉄観光ラック
三木鉄道記念公園
三木市観光協会
観光PRブース出展時 など

誰もが知っているJTBのるるぶを作成することで、幅広い世代の観光客が手に取り、三木市の観光情報を効果的に入手しやすくなります。また、市外にも設置することで、多くの方に三木を知っていただき、観光客の誘客につなげます。

生涯活躍のまちの実現に向けて、まちの魅力をアップするため、さまざまな人の働きたい思いを支援する多世代のしごとサポートに取り組みます。

事業の目的

子育て中の方や高齢者、障がいのある方など、それぞれのライフスタイルに応じた働き方ができる環境を整備することで、多様な方が社会とつながり、いきいきと暮らせるまちをめざし、クラウドワーキングを推進し、時間や場所にとらわれない働き方ができるとして、フルタイムで働くことができない方、通勤が困難な方、自分の時間を持ちながら働きたい方などが働くことに一歩踏み出せるよう後押しし、働き方の選択肢を増やすことで、多世代が活躍できる住みやすいまちを実現します。

子育て中の方



子育てしながら
働きたい！

高齢者



趣味や地域活動しながら、
現役時代の経験を生かして
働きたい！

障がいのある方



自宅などで自分のペースで
働きたい！

クラウドワーキング^{※1} の推進

- 個人の能力や特性に応じたしごとの提供。
- 自宅やコワーキングスペース^{※2}で働くことができる。
- 空いた時間に働くことができる。

実現



社会参加の促進
生きがいづくり
多世代の活躍

※1 クラウドワーキング・・・仕事の受注から納品までをインターネットを使って自宅などで行う働き方

※2 コワーキングスペース・・・様々な業種、年齢の方が集まり、机やイス、インターネット設備などを共用しながら仕事をする場所

事業の内容

業務の指導、相談・啓発、仕事の受注を行う「クラウドディレクター」を置くことで、クラウドワーキングを初めて行う方などの不安や手間を軽減し、ワーカー（働く方）のスタートアップやキャリアアップを支援します。

また、ワーカー同士が集い、一緒に仕事を行える場所として、託児機能付きのコワーキングスペースを整備し、クラウドワーキングを継続しやすい環境づくりを行います。

クラウドワークス社

提携・業務紹介

生涯活躍のまち推進機構

○ クラウドディレクターの配置



- ・業務の受注、営業
- ・ワーカーへの業務の振分
- ・業務の進捗管理
- ・新規ワーカーの確保・育成
- ・財務管理

○ コワーキングスペースの整備



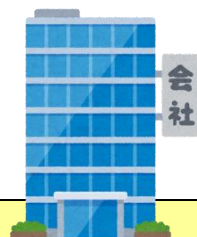
- ・ワーカーの仕事の場
- ・託児サービスの提供

※写真はイメージです

- ①発注
- ⑤支払

④納品

提携企業



- ・ライフスタイル研究会の参画企業から優先的発注
- ・ディレクターの営業活動により新規発注先を開拓

③納品

- ②業務分担・指導
- ⑥報酬

ワーカー



- ・本人のスキルに応じて業務を受注し、自宅やコワーキングスペースで従事

今後のまちづくりにおいて土地の有効活用が期待される大村地内において土地区画整理事業を検討し、地域の魅力を高めるまちづくりを進めます。また、志染駅北側と南側の一体利用や駅南側低未利用地の有効活用について検討します。

平成31年度の業務(予定)

■大村地内

- ・組合設立準備
- ・施行区域の設定
- ・区画整理設計
- ・整備効果の調査
- ・基本計画の作成

■志染駅周辺

- ・基本構想等について検討を進めます。



項目

プレミアム付商品券の販売(産業振興部 商工振興課)

事業費:1億700万円
(別途、H30年度3月補正でも700万円を計上)

消費税・地方消費税の10%への引き上げが低所得者・子育て世帯(0~2歳児の子を持つ世帯)の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えすることを目的として、国補助金を用いてプレミアム付商品券の販売を行います。

【購入対象者】

- H31年度住民税非課税者
(課税基準日H31.1.1)
- 3歳未満の子が属する世帯
の世帯主 (H31.6.1時点)

商品・サービスを提供

②

商品券で商品・サービスを購入

商店等

(大規模店舗含む)

(現金2万円)
購入

①

(2万5千円分)
商品券の販売



商品券を換金

③

現金を
商店等の口座に入金

三木市

【委託先】

三木市商店街連合会
吉川町商工会

換金済商品券、換金報告書を送付

④

換金手数料の支払い

金融機関 (換金)

高付加価値化や生産性向上につながる設備導入や海外進出を支援し、市内産業の安定的な発展を図ります。
また、農業経営をサポートするため、特産山田錦の品質向上や鳥獣害対策の強化等を推進します。

中小企業の振興

○金物の国際見本市出展支援

(予算:300万円)

- ・ドイツで開催される国際見本市への出展を支援

○みきかなもんプロジェクト

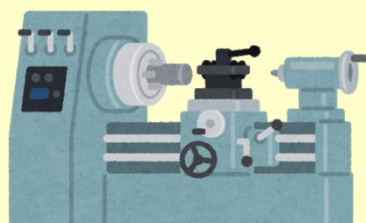
(予算:800万円)

- ・三木金物海外進出戦略
- ・かじやツーリズムの開催

○中小企業の設備投資を促進

(予算:4,000万円)

- ・経営の革新を目的として行う設備投資を支援



農業の振興

○北播磨「農」と「食」の祭典

(予算:100万円)

- ・北播磨産の食材を使った「農」と「食」のイベントを三木市で開催
※ふれあいフェスティバルin北播磨(仮称)と同時開催

2019年
10月開催

○山田錦グレードアップ支援

(予算:1,656万円)

- ・山田錦の等級に応じて補助金を交付
 - ・特上200円/1袋(30kg)
 - ・特100円/1袋(30kg)

○有害鳥獣対策

(予算:3,664万円)

- ・電気柵設置費等の助成
- ・イノシシ捕獲に対する助成
- ・狩猟免許取得費等の助成 など



避難所となる公共施設(志染町公民館・総合隣保館)の耐震改修を行います。

また、温泉交流館(吉川温泉よかたん)の家族風呂をリニューアルするほか、文化会館小ホールの舞台照明を更新するなど、市民にとって身近な施設の改修を順次行います。

1. 耐震化・耐震診断 (5,680万円)

施設名	建築年度	内容	金額
① 志染町公民館	S55	耐震工事 (外壁補修なども実施)	4,800万円
② 総合隣保館	S56	耐震診断及び設計	630万円
③ 平田小学校給食調理場	S54	耐震診断	250万円



志染町公民館

2. 施設改修

(1) 学校施設の改修 (1億5,200万円)

施設名	内容	金額
① 平田小	エレベーターの設置等	1億 700万円
② 平田小・三樹小・ 三木東中・緑が丘中	特別教室の空調設備の 更新	4,500万円

(2) 照明のLED改修 (900万円)

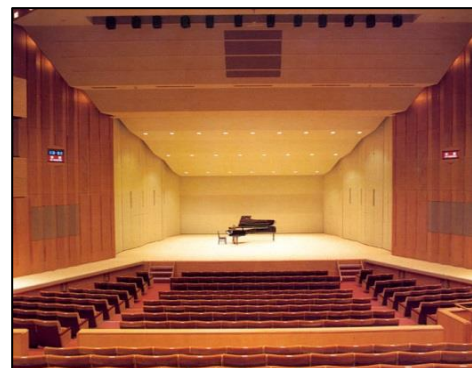
施設名	金額
① 市役所本庁舎(3階)	800万円
② サンライフ三木(多目的室)	100万円

(3) 建物・設備の改修（4億8,817万円）

施設名	内容	金額
① 清掃センター	中央制御盤等の更新	1億6,800万円
② 文化会館	小ホール舞台照明設備の更新等	1億 730万円
③ クリーンセンター	脱臭設備等の更新	1,680万円
④ デイサービスセンター 三木東・三木北・ひまわり	浴槽、空調設備、給湯器の更新	6,290万円
⑤ 吉川総合公園テニスコート	照明改修	2,800万円
⑥ 市営大塚団地(5号棟)	屋根・外壁の改修等	2,800万円
⑦ 温泉交流館 (吉川温泉よかたん)	家族風呂などの改修工事	2,570万円
⑧ 市内公園等の遊具改修	老朽化した遊具の取り替え	1,530万円
⑨ エオの森研修センター (三木ホースランドパーク)	冷却塔の改修等	1,230万円
⑩ 吉川健康福祉センター	電気設備の更新・ 空調設備の更新(設計)	807万円
⑪ 消防庁舎・ 三木第6分団機動隊器具庫	外壁改修	900万円
⑫ コミュニティスポーツセンター	1階空調設備の改修等	550万円
⑬ 総合保健福祉センター	1階トイレの洋式化	130万円



清掃センター



文化会館小ホール



吉川温泉よかたん